

# 和歌山だよいい

令和4年  
(2022) 10月号



生石高原 (紀美野町・有田川町)

「すすき」から連想されるものに「お月見」があります。お月見は十五夜(中秋の名月)に行われるのが一般的ですが、十五夜に次いで美しい月が見られるとされる十三夜に行くこともできます。

今年の十三夜は10月8日です。十五夜を逃してしまった方も、秋の植物等を窓辺に飾り、月の美しさを感じてみてはいかがでしょうか。

(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

## CONTENTS

- 1 知事メッセージ . . . . . p. 1
- 2 和歌山県政トピックス . . . . . p. 2 ~ 8
- 3 お知らせ . . . . . p. 9 ~ 15
- 4 ふるさと歳時記 . . . . . p. 16



## ポジティブリストとネガティブリスト

次代を背負ってほしい和歌山の若者の能力と意欲を高めようと、毎年わかやま塾を開いていますが、その講師である青山繁晴さんが先日ポジティブリストとネガティブリストということに言及されました。ポジティブリストは、リストに挙げられている事しかしてはいけないということで、ネガティブリストは、リストに挙げられている事以外は判断で何でもしてもよいということです。青山さんは警察と防衛の違いとして言われたのですが、私はこれを聞いて、県知事や県庁職員は断然ネガティブリストの考えで行動せねばならないと思いました。

行政や公務員は、ともすれば決められたことを淡々とこなしていればよい、余計なことをして問題を起こしてはならないといった考え方が主流になりがちです。その結果、前例踏襲に墮したり、何もしないことの言い訳ばかりをしているといった批判にさらされることになってしまいます。

私はこれではいけないと思います。県民の幸せを図るため、しなければならないことは時々刻々変わるし、誰もやったことがないことを工夫して見つけ出して実行するといったことも必要になってきます。逆に言うと、こうして頭を最大限に使って、県民の幸せのために最大限のことをするというのが公務員の冥利に尽きるとも思います。

もちろん、県の行動は公権力の行使ですから、道理にかなわないこと、明確な法律違反、人権を傷つけること、人のプライバシーに関わることなどしてはいけないことも多々あります。しかし、これらをネガティブリストとして頭にしっかり入れた上で、やれる事は何でもやるという気概がないと県民の幸せは図れません。新型コロナ対策や災害対応、新政策の企画立案など私は、和歌山県政をこのようなネガティブリスト方式に基づいてリードしてきました。その結果、新しいさまざまな知見や経験もできて、次に同様なことが起こったら適用できるソフトな行政財産もどっさりたまっていますから気概さえ失わなければ、同じように県民の幸せを追求できるはずです。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



9/15 議場にて

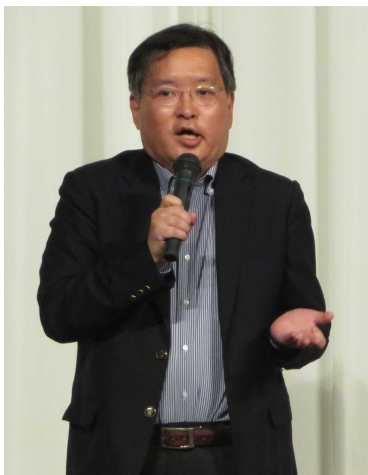
●「デジタル化推進シンポジウム～デジタル人材の育成が企業経営の幅を広げる！～」を開催しました

新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワーク勤務や Web 会議などデジタル技術の活用が推奨されるようになるなど、感染症対策を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」の確立のため、非対面・非接触での活動を可能とする「デジタル化」は様々な分野で急速な広がりを見せています。

県では、デジタル技術活用によるビジネスモデルの变革や生産性向上に向け、県内事業者の機運醸成を図るため、昨年度に引き続き、9月5日に「デジタル化推進シンポジウム」を開催しました。



基調講演を行う山口明夫さん  
やまぐちあきお



基調講演を行う西山圭太さん  
にしやまけいた

シンポジウムでは、日本 IBM 株式会社の山口明夫代表取締役社長と東京大学未来ビジョン研究センターの西山圭太客員教授に、それぞれ「加速するデジタル変革に企業はどう取り組むのか」、「日本経済 DX のカギ デジタルを『使う』人材に必要なこと」と題して、デジタル変革の現状やデジタル人材育成の重要性について基調講演を行っていただきました。

さらに、和歌山大学の伊東千尋学長をモデレーターに、ニッテイド株式会社の井戸端康宏代表取締役社長、株式会社ふみこ農園の成戸晃子専務取締役、株式会社

YeeY の島田由香共同創業者/代表取締役、先の山口氏をパネリストとして、デジタル化を推進されている立場からディスカッションをしていただきました。

シンポジウムの参加者からは、「DX という言葉だけに踊るのではなく、しっかりとした目的・明確な方針を持つことが必要であると感じた」など様々なお声をいただきました。

DX(デジタルトランスフォーメーション)が世界で加速化する中、県では、本年度より新たに県内事業者の競争力強化と優位性確立のため、「わかやまデジタル革命推進プロジェクト」を展開し、県内事業者のデジタル化を一貫して支援するとともに、引き続き、市町村と連携して行政サービスのデジタル化も推進していきます。



デジタル化に精通している方々を交えたパネルディスカッションの様子

●株式会社メルカリ・株式会社ソウゾウと包括連携協定を締結しました

このたび、県と株式会社メルカリ及び株式会社ソウゾウは、それぞれの資源やネットワークを有効に活用した緊密な相互連携により、一層の地域活性化及び県民サービスの向上を図ることを目的として、包括連携協定を締結しました。



(左から)協定書を手にする仁坂知事、小泉(株)メルカリ取締役会長、石川(株)ソウゾウ代表取締役 CEO

フリマアプリ「メルカリ」の企画・開発・運営などを行う株式会社メルカリ及びメルカリの新規事業などの企画開発を担い、現在「メルカリ Shops」などを手掛けている株式会社ソウゾウは、国内 EC(\*)市場において高いシェアを誇っており、優れた ICT 技術と専門的な知見を持っています。

今後は、高等学校における EC を活用した教育支援や小規模事業者の EC 導入支援など、EC を核とした地域の課題解決や活性化に向けた取組をはじめ、メルカリ寄付を活用した義援金の受入や、転職なき移住、ワーケーションの推進などについて連携を図っていきます。

なお、転職なき移住やワーケーションの項目を盛り込んだ連携協定を両社と締結するのは本県が全国初であり、ビジネス環境の良さと安全で快適な生活環境といった強みを活かした「New Work×Life Style」を提案し、IT 企業やオフィスの企業誘致を推進している本県にとって非常に心強いものです。

また、連携事項「EC を活用した地域の活性化に関すること」に関連した取組のひとつとして、わかやま紀州館が「メルカリ Shops」において和歌山の特選商品を販売中です。今後準備が整い次第、随時出品商品を増やしていく予定ですので、皆さん是非ご覧いただき、お買い求めください。

(\*)EC (Electronic Commerce) : インターネット上でモノやサービスを売買すること全般

■ショップ名：わかやま紀州館

■URL : <https://mercari-shops.com/shops/gm6eJbawgJCuxHVFfnQYWTG>

■販売品目：15商品（梅干し、醤油、銘菓、ゼリーなどのセット）

■販売商品例



QRコード



梅干し個包装12個入り



みかんゼリー 6 個セット



じゃばらセット（果汁・ポン酢）

●「令和4年度和歌山県100年企業表彰」表彰式を開催しました

県では、社会経済情勢の変遷の中にあつて、100年以上にわたり伝統の技術や事業を守り、継承することによって、本県の経済発展に貢献いただくとともに、他の企業の模範となってきた長寿企業を「和歌山県100年企業」として平成19年度から表彰しています。

8月31日に表彰式を開催し、受賞企業22社の皆さんに表彰状と記念品を贈呈しました。なお、今回の表彰により、受賞企業は169企業となりました。

受賞企業の皆さんには、これまで工夫と変革を積み重ねながら、幾多の困難を乗り越えてこられたことに敬意を表しますとともに、これからも末永く成長されることを大いに期待しています。



受賞企業の皆さんと知事

■「令和4年度和歌山県100年企業表彰」受賞企業一覧 \*創業年順

番号	商号	所在市町	業種	代表者 (敬称略)	継承代数 (代)	創業年次		経過年数 (年)
						(西暦)	(和暦)	
1	株式会社切目屋薬局	田辺市	卸売業/小売業	脇村 明	10	1714	正徳4年	308
2	高垣酒造株式会社	有田川町	製造業	高垣 任世	9	1840	天保11年	182
3	太田鉄工株式会社	和歌山市	建設業	谷村 和男	6	1895	明治28年	127
4	中常漆工芸株式会社	海南市	製造業	中村 俊之	4	1900	明治33年	122
5	有限会社カネイワ醤油本店	有田川町	製造業	岩本 行弘	4	1912	大正元年	110
6	株式会社北畑海苔店	和歌山市	製造業	北畑 博史	4	1916	大正5年	106
7	株式会社中井組	湯浅町	建設業	中井 崇義	4	1917	大正6年	105
8	株式会社カナセ	上富田町	製造業	金谷 清道	3	1919	大正8年	103
9	株式会社白浜試錐	白浜町	建設業	竹末 圭一郎	4	1919	大正8年	103
10	株式会社日本化学工業所	和歌山市	製造業	田中 俊一	5	1920	大正9年	102
11	合名会社平林商店	橋本市	卸売業/小売業	平林 豊治	3	1920	大正9年	102
12	株式会社うえだ	みなべ町	卸売業/小売業	植田 一徳	5	1920	大正9年	102
13	株式会社富士商會	和歌山市	卸売業/小売業	藤田 雅也	3	1920	大正9年	102
14	株式会社児玉兄弟商會	海南市	製造業	児玉 悟	5	1920	大正9年	102
15	株式会社山東鐵工所	和歌山市	製造業	河井 恒治	4	1920	大正9年	102

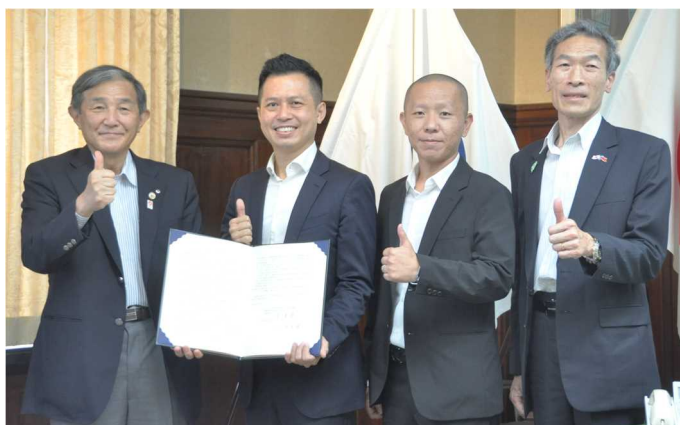
■「令和4年度和歌山県100年企業表彰」受賞企業一覧（前頁からの続き）

番号	商号	所在市町	業種	代表者 (敬称略)	継承代数 (代)	創業年次		経過年数 (年)
						(西暦)	(和暦)	
16	高木彫刻株式会社	和歌山市	製造業	高木 秀仁	4	1921	大正10年	101
17	株式会社モリモト	和歌山市	卸売業/小売業	森本 哲生	3	1921	大正10年	101
18	株式会社三共洋紙店	有田市	製造業	鵜尾 崇功	3	1922	大正11年	100
19	株式会社浅川組	和歌山市	建設業	池内 茂雄	8	1922	大正11年	100
20	株式会社山本進重郎商店	和歌山市	製造業	山本 進三	3	1922	大正11年	100
21	三和シール工業株式会社	橋本市	製造業	堀川 浩平	4	1922	大正11年	100
22	株式会社堀忠商店	田辺市	卸売業/小売業	堀 俊雄	3	1922	大正11年	100

●敦謙国際智能科技股份有限公司(台湾企業)と進出協定を締結しました

台湾に本社を置き、今回が日本初進出となる IT ベンチャー企業  
ドンケンコクサイチノウカギコフンユウゲンコウシ  
 「敦謙国際智能科技股份有限公司」が、システム開発拠点を和歌山県に設置することとなりました。

9月1日に、県庁で進出協定調印式を開催し、仁坂知事と吳秉庭ごへいてい総経理(CEO)が協定書を交わしました。



協定書を手にする吳秉庭総経理と知事

同社は、高度な IT スキルを用いて、宿泊施設の予約、部屋割り、精算等を自動処理できる独自のホテル運営管理システムを手掛けており、台湾では既に 40 を越えるホテルに導入されています。同システムにより、ほぼ無人で宿泊施設を運営できるため、非接触による新型コロナウイルスの感染拡大防止や人手不足の解消が期待されています。

Nagomi Lab. (和歌山市) を拠点として日本法人を設立し、日本におけるシステム導入トライアル等を行った後、令和5年5月に本格操業を開始する予定です。そして、全国の宿泊施設を対象としたスマートホテル化や宿泊施設への IT コンサルティング事業の展開を計画しており、今後3年間で20名の正社員採用を見込んでいます。

日本に拠点の無い海外企業との進出協定締結は今回が初めてのことであり、県では同社の事業展開を全力でサポートするとともに、海外企業を含めた IT 企業等の誘致をより一層加速していきます。

●「大規模土砂災害対策技術センターシンポジウム～紀伊半島から新たな砂防技術を全国へ～」を開催しました

本県をはじめ、紀伊半島に甚大な被害をもたらした平成 23 年 9 月の紀伊半島大水害から 11 年が経ちました。2,000mm もの豪雨に見舞われた紀南地方では、各地で土砂災害が発生し、県内の犠牲者 61 名のうち 37 名が土砂災害によりその尊い命を失いました。犠牲となられた方々に改めて哀悼の意を表します。



パネルディスカッションの様子

9 月 10 日、近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター、和歌山県、那智勝浦町は、紀伊半島大水害や最近の土砂災害を契機として進められている大規模土砂災害に関する調査研究・技術開発について紹介し、土砂災害による被害の軽減・防止や安全・安心な社会の実現について考えることを目的として、「大規模土砂災害対策技術センターシンポジウム」を開催しました。

シンポジウムでは、「大規模土砂災害対策技術センターの提供するフィールドにおける斜面崩壊研究の成果とその活用の可能性～地下水観測からわかりつつある土砂災害の予測方法～」と題して京都大学大学院農学研究科のこすぎけんいちろう小杉賢一朗教授に講演いただくとともに、「深層崩壊の仕組み解明」、「ドローン最新技術活用」など新技術の紹介を行いました。

また、「紀伊半島大水害からの技術開発、今後の方向性～災害予測、危機管理、流域監視と防災教育～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

県では、土砂災害に関する研究および啓発の拠点となる施設として、平成 28 年度に和歌山県土砂災害啓発センター（那智勝浦町）を開設しました。また、災害への備えに向けた取組として、同センターと和歌山工業高等専門学校が共同研究を行い開発した防災 RPG（ロールプレイングゲーム）等を小中学校における防災教育に活用するなど、これまでの災害の被害と教訓を記憶に刻み、県民と一丸となって災害対策に全力で取り組んでいきます。

■「和歌山県土砂災害啓発センター」の紹介動画のご案内

- ・ 同センターHP：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/080604/top.html>
- ・ YouTube 公式チャンネル「和歌山県土砂災害啓発センター」  
<https://www.youtube.com/watch?v=osgTTTCylws>

You Tube 2 次元コード→



■防災RPG「土砂災害が発生したとき」



<ゲームのシナリオ>

楽しみにしていた遠足。しかし当日はまさかの大雨!!大雨警報、土砂災害警戒情報、避難勧告と、次々と地域の防災・避難情報が発令されています。事前にハザードマップで確認していた避難所に安全に避難できるでしょうか？

■防災RPG「命を守るハザードマップ」



<ゲームのシナリオ>

避難が必要になってからハザードマップを探しても遅いのです。周辺の土砂災害の危険があるところを見学したり、事前のハザードマップを確認することで、災害に備えておきましょう！

●大好評「WEST EXPRESS 銀河」紀南コースが今年も運行されます！

観光を中心とした西日本エリアの活性化等を目的に、西日本旅客鉄道株式会社が運行する長距離観光列車「WEST EXPRESS 銀河」が、昨年引き続き、10月3日から令和5年3月8日まで紀南地域を概ね週2回運行します。

京都駅と新宮駅を片道10時間以上かけて結ぶ「銀河」は、停車駅で地元食材を使った食事の提供、るりこんが受けられる6両編成の列車で、



進化した「銀河」が今年も紀南地域を走ります

特産品の販売など地元ならではの「おもてなし」が受けられる6両編成の列車で、るりこんの車体は、西日本が誇る美しい海や空を表現しています。



4号車フリースペース「遊星」

「銀河」が昨年の7月から12月にかけて、同区間ではじめて運行された際は、チケット含む旅行プランの抽選倍率が最大13倍、利用者数が約3,000人に達するなど、大好評でした。

今年の運行では、夜行・昼行列車共に海側座席数が倍増され、雄大な太平洋の景観が満喫できるようになりました。さらに昼行列車では、新たな停車駅として紀伊田辺ゆうせい

駅が追加されるとともに、紀伊田辺駅から和歌山駅間のフリースペース「遊星」において、沿線市町や地元企業による地域の魅力PRイベントが開催されるなど、各駅や車内での「おもてなし」が一層充実しています。

紀南地域は、海・山・川などの美しい自然が織りなす景観や温泉に恵まれ、更に、本年末には民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」（串本町）から小型ロケット「カイロス」初号機の打上げが予定されているなど、ますます盛り上がりを見せています。

是非この機会に、多くの皆さんに紀南地域のみならず「蘇りの地、わかやま」の魅力に触れていただきたいと思います。

< 予約の受付や運行情報の詳細等 >

JRおでかけネットの特設ホームページ  
「WEST EXPRESS 銀河」をご覧ください

<https://www.jr-odekake.net/railroad/westexginga>





●国の登録有形文化財（建造物）に新たに3か所（5件）を登録へ！

7月22日に国の文化審議会から、和歌山県内3か所（5件）の建造物を国登録有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申されました。

『旧東山東農業協同組合事務所』は、和歌山市南東部の農業が盛んな山東地区に所在する農業協同組合の旧事務所で、昭和23(1948)年に建設され、昭和40(1965)年以降は住宅として使用されていました。令和3(2021)年の改修を経て、現在は地域交流拠点「まんなか」として活用されています。

二階建、半切妻造、瓦葺のこの建物は、板張りの外壁と正面頂部の換気口や二階の二連窓が特徴的で、かつて農業協同組合事務所として使用されていた当時の様子をよく残しており、農村の賑わいを今に伝えています。



旧東山東農業協同組合事務所（和歌山市）



堀越齋観音庫裏（かつらぎ町）

『旧堀田茶舗（立石茶屋）』は、熊野街道と深専寺参道との四ツ辻の北東角地に位置する、かつての茶商である堀田家の店舗兼住宅です。平成18(2006)年に湯浅町が建物を公有化し、現在は改修を経て休憩所として活用されています。

店舗は、平屋建、切妻造、瓦葺で、江戸末期に建設されました。座敷棟は、店舗背面に接続し、二階建、寄棟造、瓦葺で、昭和9(1934)年に建設されました。銅板張りの外観が特徴的で、内部は各階二室からなり、一階には数寄屋風和室、二階には洋室も設けています。江戸末期に建設された商品蔵である土蔵と併せ、四ツ辻の歴史的景観を形成しています。



旧堀田茶舗（立石茶屋）店舗（湯浅町）

なお、当該文化財が登録されれば、本県の国登録有形文化財（建造物）は116か所316件となります。

## ●「きのくに文化月間創設記念イベント」を開催します

県では、昨年開催した「紀の国わかやま文化祭2021」で育まれた文化振興の機運を更に高めるとともに、障害の有無に関わらず、県民一人ひとりが主体的に文化芸術活動に参加し、次世代を担う青少年が文化芸術への関心を高められるよう、毎年11月を「きのくに文化月間」と定め、市町村や文化団体と連携して県内全域で文化事業を開催することとしています。

このたび、「きのくに文化月間」連携事業の開催内容等を盛り込んだパンフレットを作成するとともに、下記のとおり「きのくに文化月間創設記念イベント」を開催します。是非ご参加ください。

なお、パンフレットのPDF及び各文化事業の開催内容は、和歌山県文化学術課ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/bunkagekkan/index.html>



パンフレット表紙

### ■きのくに文化月間創設記念イベント

日 時 令和4年11月12日(土) 《開演13:00 / 開場12:00》

会 場 和歌山県民文化会館大ホール

内 容 **【第1部】表彰式／ジュニア文化表彰式・受賞者による発表**

\*芸術、メディア芸術、芸能、学術、伝統工芸品などの文化芸術分野で世界的又は全国的に優秀な成績を収めた小中学生及び高校生等を表彰します。

**【第2部】和歌山県ゆかりの芸術家によるコンサート**

出演者：松村 秀明 (指揮)

谷口 賢記 (チェロ)

読売日本交響楽団特別室内合奏団



松村 秀明



谷口 賢記



読売日本交響楽団特別室内合奏団

定 員 2,000名

\*この他、オンライン(特設サイト)でも同時配信します。\*申込不要

#### <参加申込方法>

【Web】特設サイトのフォームに記入し、お申込みください。

特設サイト：<https://kinokunibunka.telewaka.tv>

【はがき・FAX】必要事項をご記入いただき、お申込みください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号

⑤入場希望人数(1人または2人/①~④は申込者全員分をご記入ください)

⑥その他(車いす、手話通訳、要約筆記等の利用を希望される方は、ご記入ください)

(宛先)〒640-8533 和歌山市栄谷151番地

株式会社テレビ和歌山営業部「きのくに文化月間創設記念イベント」係

(FAX) 073-452-7380 (10:00~18:00)

【申込締切】令和4年10月21日(金) \*消印有効

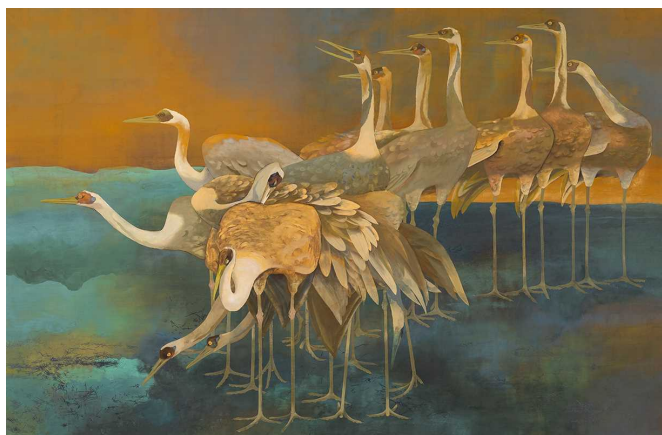


## ● 県立近代美術館で「稗田一穂展」が開催中です

県立近代美術館では、令和3年3月に満100歳で亡くなった、和歌山県田辺市出身の日本画家、稗田一穂<sup>ひえだかずほ</sup>（1920-2021）の回顧展を、田辺市立美術館と共同で開催しています。

10代半ばで日本画家を志した稗田は、東京美術学校に学び、戦後、本格的に画家としての活動を始めました。

鳥を主要なモチーフとした、生命を寿ぐような素朴で力強い表現や、世界的な絵画動向を意識しつつ画材の特質も発揮した画面構成は、日本画の地平を拓くものとなります。



《群鶴》1978年



《幻想那智》1979年

また、60歳を迎えた頃から、故郷和歌山の熊野の地をモチーフにした、悠久の時間を想わせる荘厳な風景と、長らく生活を営んだ東京の成城の町をモチーフにした、詩情あふれる日常の風景が主要なテーマに加わり、個々の作品はもちろん、あちらとこちらを歩きかう中で、見る者を深い思索と想像に誘う独自の世界観を築きます。

この展覧会では、各時代の主要な作品を通して稗田の画業全体を振り返るとともに、アトリエに遺された画稿やスケッチブックなどを併せて紹介することで、その創作の過程もたどります。80年以上を日本画の研究に費やし、戦前から戦後の絵画に大きな足跡を残した画家の画業を改めてご覧いただくことで、故人を偲びます。皆さん、是非お越しください。

### <開催概要>

会 期 令和4年9月10日（土）～ 11月6日（日） \*10月11日に一部作品を展示替え  
 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）  
 休 館 日 毎週月曜日（9月19日、10月10日は開館）  
 9月20日（火）、10月11日（火）  
 観 覧 料 一般800円(640円)・大学生500円(400円) \*（ ）内は20名以上の団体料金  
 \*高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料  
 \*毎週第4土曜日（9月24日、10月22日）は「紀陽文化財団の日」として大学生は無料  
 \*10月2日（日）は無料観覧日

[田辺展] 11月19日（土）～ 令和5年1月15日（日）  
 田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館（田辺市立美術館分館）

## ● 「龍神村 Dragon Museum (ドラゴンミュージアム)」がオープン！

和歌山県田辺市龍神に7月30日、「龍神村 Dragon Museum (ドラゴンミュージアム)」がオープンしました。

本施設では、龍神地域の特性を活かしたまちづくりを進めている地域おこし団体「龍の里づくり委員会」が、世界的な造形(フィギュア)メーカーである株式会社海洋堂(大阪府・門真市)の協力を得て令和2(2020)年から

開催している「龍神村龍の造形大賞」で大賞に選ばれた造形作品など180点以上を展示しているほか、県産品や龍に関するグッズを販売する売店コーナーも併設されています。



「龍神村ドラゴンミュージアム」外観



作品名：Sorry Momy 作者：Takashi Katayama さん  
(第2回龍神村龍の造形大賞 2021 審査員賞/クラウドファンディング賞)

において、マルシェや子供木工教室などの地域交流イベント開催のための拠点を整備したり、LINEを活用したファンクラブを開設するなど、地域を更に元気にするための取組を進めています。

活気あふれる龍神地域に、皆さん是非お越しください。

### <施設概要>

住 所 〒645-0417 和歌山県田辺市龍神村柳瀬908番地

電話番号 0739-78-0072

開館時間 9時～16時(年中無休)

入館料 中学生以上500円(400円)・小学生250円(200円)

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

\* 小学生未満は無料



作り手の想いがこもった「龍」の展示



県産品や龍グッズの売店コーナー

●「グランドニッコー東京 台場」で和歌山県食材をふんだんに使ったコースが登場！

県では、わかやま産ブランドの向上と販路開拓を目的として、高級外食店への県産品採用に向けた提案活動を行っています。

このたび、「グランドニッコー東京 台場」内のレストラン「The Grill on 30th」・「鉄板焼 銀杏」・「中国料理 桃李」において、『和歌山フェア』が11月30日（水）まで実施されています。

和歌山県産の食材が調味料に至るまで惜しみなく使用された料理が東京で味わえる貴重な機会ですので、是非ご堪能ください。

**The Grill on 30th Chefs` Selection 「和歌山コース」メニュー（一例）**

- ・和歌山県産太刀魚と南高梅のルーロ ひしほペーストのクリームソース
- ・紀の国みかんどりとズワイ蟹のロワイヤル  
濁り醬3年熟成「匠」と白トリュフの香り
- ・紀州アワビのグリルと和歌山県産天然真鯛の金山寺味噌クルミ焼き
- ・紀州和華牛サーロインのグリル ワイルドライスのリゾット  
近大イクラと共に醤油フォンドヴォー山葵 等



**鉄板焼 銀杏 神楽「和歌山コース」メニュー（一例）**

- ・近大キャビアとあんぼ柿のカナッペ
- ・炙り太刀魚とイチジクのマリネ 南高梅と純こめ酢のドレッシング
- ・紀州和華牛カイノミのコンフィ 金山寺味噌添え
- ・秋鱧と紀州アワビのスープ仕立て カルタファタ包み
- ・和歌山ポンチ 銀杏スタイル 等



**中国料理 桃李 彩鳳「和歌山コース」メニュー（一例）**

- ・紫蘇とアカモクの酸味ふかひれスープ
- ・和歌山県産太刀魚の金山寺味噌フライ 青みかん塩を添えて
- ・紀州和華牛サーロインの炒め 濁り醤油ソース山椒風味
- ・和歌山県産蓮子鯛の姿揚げ 柚子ポン酢ソース掛け
- ・和歌山ポンチ 桃李スタイル 等



\*画像はコースイメージです。詳細はグランドニッコー東京 台場の公式WEBサイトをご確認ください。

\*「鉄板焼 銀杏」と「中国料理 桃李」はフェア期間中、前半と後半でメニューが異なります。

前半：10月16日（日）まで

後半：10月17日（月）～11月30日（水）

<実施店舗>

30F「The Grill on 30th」・「鉄板焼 銀杏」／2F「中国料理 桃李」

住 所：東京都港区台場2-6-1（グランドニッコー東京 台場）

電話番号：03-5500-6711

営業日時：下記公式WEBサイトをご確認ください。

公式WEBサイト：<https://www.tokyo.grandnikko.com/>



「和歌山フェア」の詳細は  
こちらから

## ●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非ご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

## ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。  
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。  
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

## 各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

\*\*\*\* ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては \*\*\*\*

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

① 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】

新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。



⑧ 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。



② 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ワールドマスターズゲームズ関西
- 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会などの開催をすすめます。



⑨ 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



③ 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】

各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。

母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



⑩ わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- 白良浜海水浴場
- 片男波海水浴場などの砂浜の整地をすすめます。



④ がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。



⑪ わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- 国・県指定文化財の建造物修理や史跡整備などを支援します。



⑤ 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



⑫ 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。

- 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



⑥ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- 参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



⑬ わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



⑦ 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。



⑭ わかやまの農林水産業の振興

和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。

- 農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。
- 農林水産業の生産性の向上をすすめます。
- 農林水産業の魅力を国内外へ発信します。



※充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。  
※お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

## ●和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の御案内

県では、県産品を生産販売する県内事業者の商品販売ページを紹介するインターネットショッピングモール「おいしく食べて和歌山モール」を開設しています。和歌山の特産品である果物や果実加工品、しらす・干物などの水産加工品、菓子類など様々な商品をご紹介します。

9月9日に「中島由貴の和歌山をいただきます！」コーナーに、和歌山県が生産量日本一のイチジクについて、その魅力を伝える動画を追加しました。和歌山県ふるさと広報大使 中島由貴さんが、イチジクの楽しみ方やイチジクに含まれる機能性成分など食材の持つ魅力をご紹介します。

「おいしく食べて和歌山モール」を通じ“食の宝庫和歌山”の魅力を感じていただくとともに、和歌山県の商品を購入される際は、ぜひご活用ください。



和歌山県ふるさと  
広報大使

中島由貴の  
和歌山をいただきます!

いちじくでーす!

ページ QR コード



Specialities From  
Wakayama

おいしく食べて  
和歌山モール

「おいしく食べて和歌山モール」では、  
和歌山の魅力ある“食”情報を  
お届けします!

サイト QR コード

<おいしく食べて和歌山モールURL>  
<https://oishii-wakayama.com/>



おいしく食べて和歌山モール



**イベント情報（10月中旬～11月中旬）**

**\*新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
10月15日 10月16日	熊野速玉大社例大祭、 神馬渡御式、御船祭	熊野速玉大社 (新宮市)	熊野速玉大社 0735-22-2533
10月22日	稲むらの火祭り	稲むらの火広場 (広川町)	稲むらの火祭り実行委員会 0737-63-6283
10月23日	丹生官省符まつり	丹生官省符神社 (九度山町)	丹生官省符神社 0736-54-2754
10月29日 10月30日	和歌山城まちなかキャン ドルイルミネーション・ 竹燈夜	和歌山城と その周辺 (和歌山市)	竹燈夜実行委員会事務局 073-435-1234
11月11日 ～11月13日	田辺・弁慶映画祭	紀南文化会館 (田辺市)	田辺市観光振興課 0739-26-9929

**自然・風物情報（10月下旬～11月中旬）**

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
11月上旬	富有柿の収穫	かつらぎ町	JA紀北かわかみ 0736-42-5361
11月上旬	有田みかん出荷始まる	有田市	JAありだ 0737-53-2311
11月上旬	串柿づくり最盛期	四郷地区 (かつらぎ町)	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
11月中旬	福定の大銀杏見頃 (～12月上旬)	中辺路町 (田辺市)	中辺路観光協会 0739-64-1470

～編集後記～

「暑さ寒さも彼岸まで」とよく言われますが、すっかり過ごしやすくなりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

先月号で、和歌山県が「じゃらん宿泊旅行調査 2022【都道府県魅力度ランキング編】総合満足度と「元気な人」が多い都道府県ランキングで全国1位になりましたとお伝えしたところ、「びっくりした。でもうれしい」などのメッセージをいただきました。ありがとうございます。

ここで少し昔話（昭和60年頃）をさせていただきます。当時、私は関東地方にある学生数の多い大学に在籍していました。全国から集まっている学生は、自己紹介の際、名前の次に出身都道府県名を言うのが慣例で、私も「和歌山県出身です」と伝えるのですが、「えっ岡山県？」と聞き返されたり、「和歌山県ってどの辺だっけ？」と質問されたりとの連続でした。時を同じくして、「キンキのおまけ」という歌がラジオなどから流れるようになりました。この一見、自虐的ともとられかねないタイトルや歌詞、じっくり聞いてみると、実は和歌山愛あふれるステキな歌で、和歌山県民への応援歌のようでもあり、私は当時から大好きでした。私の記憶が正しければ、この歌の作詞作曲をされた方は、和歌山を中心に活躍されている音楽バンド、ウインズ平阪の平阪佳久さんと、歌の最後に「近畿のエースわかやま」と結んでくれています。さらに「近畿のオマケ 2006」では「世界のエース和歌山」と、応援し続けてくださっています。

このように、和歌山が大好きなみなさまの温かい応援に支えていただき、みなさまが冒頭のうれしいお知らせを連れてきてくださったと思っています。あれから36年、和歌山は、和歌山のいいところを守りながら進化し続けています。

季節の変わり目を迎えています。

みなさま、体調管理にはくれぐれもお気をつけてお過ごしください。

知事室 秘書課長 西山 雅美



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/O10500/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」  
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022年（令和4年）10月 NO.173

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026